

科目名: 自由が丘とブランディング		科目コード	EJ31
科目主査: 岡田 一弥、西村 康樹 担当講師: 岡田 一弥、西村 康樹		単位	2
		配当年次	2
授業の目的と概要	グループワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
<p>立地も行政的にも、決して恵まれた立地ではなく、昭和の初めごろには農家が60戸程度だった「自由が丘」がなぜ、日本でも有数のオシャレな街となったのでしょうか。そこには、地元商店街やコミュニティの積極的な挑戦、徹底した広報戦略という継続的な努力だけではなく、地域の特性や文化を最大限に生かしたブランディング能力がありました。この科目では、その街づくりの中心となった自由が丘商店街振興組合の取り組みを通じて地域マネジメントの重要性を学んでいきます。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	<p>事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングし、質問ができるように準備してご参加ください。また、両日ともに昼食は自由が丘のお店で班ごとに取りさせていただきますので、お弁当の準備は必要ありません。昼食代をお持ちください。</p>		
テキスト	『「自由が丘」ブランド～自由が丘商店街の挑戦史～』岡田 一弥 他、産業能率大学出版部、2016年		
この科目の到達目標	<p>①自由が丘商店街振興組合の取り組みと、この地域の発展を理解することで、各自の関連するコミュニティを発展させるヒントをつかむことができる。 ②自由が丘商店街振興組合の理事長を長く務めてきた岡田一弥の活動を理解することで地域社会におけるリーダー像を学ぶことができる。</p>		
成績評価の方法	授業に取り組む姿勢・グループワーク・フィールドワークでの活動内容に加え、論述問題の内容を総合的に評価します。		
事後学習	本授業で学んだ、活きた街づくりを深く理解し、自らの社会活動の身近な事例にあてはめて考えましょう。		
事後学習の参考文献	『自由が丘オフィシャルガイドブック2020-2021』, 昭文社		
スクーリング受講時に用意するもの	<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具		